

介護 みんなで支える介護保険 No177 問 保健福祉課 介護福祉係 476-1111(141)

◆平成 29 年度『認知症サポーター養成講座』が始まりました

認知症サポーターとは・・・特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かい目で見守る人です。

『認知症』は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれており、今後20年で倍増すると予測されています。

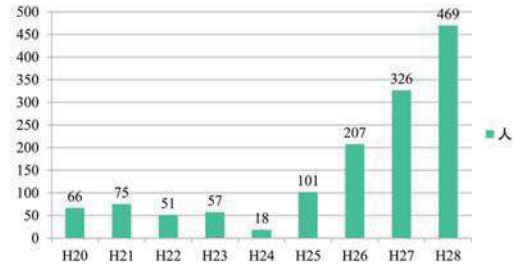
町では、平成20年度から認知症サポーター養成講座を開講し、平成27年度は役場全職員、平成28年度からは小・中学校や金融機関でも行っており、平成29年3月末現在、認知症サポーターは1,370名となりました。また講師役を務めるキャラバン・メイトは現在14名です。

7月18日、今年度初めての講座を中沖小学校で開催し、キャラバン・メイトであり地元のグループホーム回生園の管理者である小園勝巳こぞのかつみさんに講師を務めていただきました。

受講者（5～6年生18名と先生）の皆さんは、DVD『やっぱり笑顔のサブちゃんがいい！』を鑑賞した後、事例を交えた分かりやすい説明を受けました。

また、グループワークでは、徘徊する高齢者の気持ちを理解するために『自分が迷子になった時の気持ち』や『今後自分にできること』を一緒に考え、学びを深めました。

大崎町認知症サポーター養成講座 年度別実績



認知症の人がいたら自信を持って声をかけてあげたい。(5年男児)



世の中には認知症で苦しんでいる人がたくさんいるんだと実感した。(6年男児)

認知症についてくわしく知れた。困っている人には何かしてあげたいと思った。(5年女児)

自分のおじいちゃん、おばあちゃんが認知症になった時、どのようにすればいいか、とても良いわかった。(6年女児)

町では、今後もこの支え合いの輪が広がり、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、積極的に養成講座を開催いたします。集落、職場、各種団体などで受講を希望される場合は、保健福祉課介護福祉係までお問い合わせください。また、キャラバン・メイトとして活動してみたいと思われる方もご相談ください。

◆大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業実績についての報告(利用者の1割または2割負担を除いた大崎町の支払い分)

第1号被保険者(65歳以上の人)	4,993人	平成29年6月末日 現在	
要介護(支援)認定者	996人		
給 付 実 績	在宅介護サービス費	44,094,119円	平成29年5月の 給付実績
	施設介護サービス費	60,351,935円	
	その他(介護予防サービス費も含む)	36,888,140円	
	介護サービス費 合計	141,334,194円	